

## 社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月23日

計画の名称	都市公園の長寿命化と安全安心なまちづくり											
計画の期間	平成29年度～令和02年度(4年間)											重点配分対象の該当
交付対象	勝央町											
計画の目標	勝央緑地公園は、昭和57年から供用を開始している施設が多く、老朽化の進行が著しい。今後、多くの施設が処分制限期間を迎えることから、利用者の安全・安心と利便性の向上のため、計画的に施設の更新・再整備を行っていく必要があり、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、公園の利用促進を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	505	A	505	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に公園施設の補修、更新、再整備を実施し、公園機能の保全を図る。（計画期間最終目標値100%） 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100	計画の成果目標（定量的指標）			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		H29当初		R2末			
1	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に公園施設の補修、更新、再整備を実施し、公園機能の保全を図る。（計画期間最終目標値100%） 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100 長寿命化計画に基づき、（計画期間中に補修、更新、再整備した施設数）／（計画期間中に補修、更新、再整備が必要な施設数）×100	0%	%	100%			
2	年間の公園利用者数を22,140人から26,000人に増加させ、公園の利用促進を図る。 年間の公園利用者数を22,140人から26,000人に増加させる。	22140人	人	26000人			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—

A 基幹事業

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30			
配分額 (a)	10	44			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	10	44			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	10	0			
翌年度繰越額 (f)	0	44			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d) %)	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					